

2025 年 11 月 17 日

各 位

本店所在地	東京都港区赤坂九丁目 7 番 2 号
会社名	ネクセラファーマ株式会社 (コード番号 4565 東証プライム)
代表者	代表執行役社長 CEO クリストファー・カーギル
問い合わせ先	IR 部 西下進一朗
電話番号	03-5962-5718 (代表)

黒字化に向けた事業再構築のお知らせ

ネクセラファーマ株式会社（以下「当社」）は、取締役会において、事業価値最大化に資する、創薬プラットフォーム、開発品、製品に投資・リソースを集中させる、事業再構築（リストラクチャリング）を実施することを決議しましたので、お知らせいたします。優先度の高いプログラムに経営資源を集中させ、営業費用の削減に向けた施策を実行します。これらの施策は、2030 年ビジョン（連結売上高 500 億円以上、営業利益率 30%以上）の達成を後押しするものです。

当社は、明日開催の R&D Day（ウェブキャスト）において、事業再構築の詳細についてご説明いたします。参加登録方法の詳細はこちら（[リンク](#)）をご参照ください。

事業再構築の主な目的

● R&D 戦略再構築とプログラムの優先順位付け

当社に蓄積された、膨大な G タンパク質共役受容体（以下「GPCR」）に対するデータを活用し、開発リスクを低減させたベストインクラス創薬に戦略的重点を置きます。当社独自の「NxWave™」プラットフォームやその他の先端技術を活用し、差別化された医薬品を生み出します。ポートフォリオ最適化の結果、優先対象外となる一部プログラムは、提携を軸に価値を高めてまいります。

- 自社開発では、2025 年 8 月に発表した肥満・代謝性疾患・内分泌疾患に対する次世代治療薬の開発に重点を置きます。提携品では複数の臨床開発が着実に進展しており、2026 年に複数のマイルストーン達成を見込んでおります。
- AI による効率化を「NxWave™」プラットフォーム全体に展開します。業界最大級の当社独自の GPCR 構造-リガンド・データセットを蓄積・学習した AI と、GPCR 志向の厳選ケモゲノミクス化合物ライブラリを組み合わせます。
- 新たな研究開発方針に沿って、英国の創薬・開発拠点において、2026 年度の現金 R&D 支出¹を約 35 億円削減します。

¹ 減価償却費や株式報酬等の非現金項目は除外

- **執行体制と人員の最適化**

執行体制を従来の 10 名からスリム化し、2026 年 3 月の株主総会後に 7 名体制に変更する予定です。2025 年 10 月 3 日付で、パトリック・フォルシュ氏が、マシュー・バーンズ氏の後任として CSO（チーフ・サイエンティフィック・オフィサー）兼 Nxera Pharma UK 社長に就任しました。

- フォルシュ氏は免疫・腫瘍・神経科学領域で優れた実績を持ち、英国バイオ企業の Peptone および Sitryx、欧州製薬企業の UCB で責任ある役職を歴任しております（略歴は後述）。
- 日本および英国拠点で約 15%の人員削減を計画し、より収益性の高い体制構築を目指してまいります。スイスおよび韓国事業への影響はありません。

- **強固な財務基盤の維持とコストの最適化（日本・英国）**

現在、現金を含む流動性資産は 309 億円であり、戦略実行のための十分な柔軟性があります。今回の事業再構築に伴う、一時的な構造改革費用約 5 億円を 2025 年度に計上予定です（ノンコア費用）。

- 2025 年度の経営陣の業績連動型報酬（賞与）は大幅な減額を見込んでおります（最終的な金額は 2026 年 1 月の報酬委員会により決定）。
- 2026 年度以降は経営資源の選択と集中、R&D の戦略再構築、効率化・デジタル化施策により、黒字化への道筋を強化する迅速なコスト削減を実現します。2026 年度は前年対比で、少なくとも 10 億円の削減を見込んでおります。

当社代表執行役社長 CEO であるクリストファー・カーギルは次のように述べています。「当社は過去 10 年にわたり、経験豊富な日本チームと、英国の世界レベルの創薬・開発力を核に、堅固な事業基盤を築いてきました。「NxWave™」という強力な創薬プラットフォームを確立し、バイオ医薬品業界でも有数の GPCR 標的プログラムのパイプラインを構築しています。

当社は、成功確度が高く、高いリターンが期待できるプログラムを優先し、経営資源を規律とスピード感をもって投下することで、グローバルでのリーダーとしての地位を維持します。本日発表の施策により、組織体制の効率化を図り、臨床・商業的ポテンシャルが明確なプログラムの推進力をさらに高め、収益性の向上を目指していきます。2030 年ビジョンは挑戦的な目標ですが、本日発表の施策により、その達成に向け正しい軌道に乗ると確信しています。」

当社代表執行役社長 CEO であるクリストファー・カーギルは CSO 兼 Nxera Pharma UK 社長に就任したパトリック・フォルシュ氏について次のように述べています。「パトリック氏をチームに迎えることを大変喜ばしく思います。彼の豊富な経験は、当社の R&D の焦点を一層明確化し、「NxWave™」プラットフォーム、パイプライン、独自のデータ資産の価値最大化を加速します。AI に立脚した創薬基盤の構築に関する彼の知見が、ポートフォリオ意思決定の高度化、プログラム推進の加速、R&D 全体の投資収益率の向上に寄与していただけることを期待しています。」

以上

補足

事業再構築の実行

・ 人員施策

日本において「組織最適化イニシアティブ」（業務の統廃合・スリム化、再就職支援／早期退職）を実施し、法令遵守と公正性を重視して運用（英国でも同様のプログラムを実施）。

・ 業務効率の向上

日本・英国事業における販管費の最適化、IT 活用による外部委託サービスの削減。

・ R&D モメンタムの継続強化

提携プログラムでの良好な進捗および「NxWave™」を活用した GPCR パイプラインの推進を継続。直近および近い将来に期待される主なマイルストーンは以下の通り。

- Neurocrine Biosciences Inc.は Direclidine（ムスカリン M4 受容体作動薬）に関して承認申請を見据えたフェーズ3試験を2025年に開始しており、2025年第4四半期には双極性障害のフェーズ2試験を開始予定。
- Centessa Pharmaceuticals Limited は ORX750（オレキシン2受容体作動薬）のフェーズ2a試験（初期コホート）で有望なデータを報告し、ナルコレプシー1型（NT1）、ナルコレプシー2型（NT2）、特発性過眠症（IH）においてベストインクラスの可能性を示唆。2026年第1四半期に Registrational program を開始予定。
- NXE0039732（当社創製の EP4 拮抗薬、対象：固形がん）はフェーズ1試験を完了し、Cancer Research UK との提携のもと、フェーズ2試験が開始。
- NXE0048149（当社創製の GPR52 作動薬、対象：統合失調症）は2025年中にフェーズ1試験を完了予定。Boehringer Ingelheim International GmbH がライセンス・オプション権を保有しており、同オプションの行使可否の判断は近い将来を想定。
- 肥満および長期体重管理を対象とするベストインクラスを目指す低分子治療薬の自社創製品の広範なポートフォリオ立ち上げを発表（2025年8月）。

新執行体制

代表執行役社長 CEO	クリストファー・カーギル
チーフ・ファイナンシャル・オフィサー	野村 広之進
チーフ・オペレーティング・オフィサー兼 NPJ 社長	前田 敏宏
チーフ・サイエンティフィック・オフィサー 兼 NPUK 社長	パトリック・フォルシュ
チーフ・アカウンティング・オフィサー	キーラン・ジョンソン
チーフ・オブ・スタッフ	キャンデル・チョン
チーフ・リーガル・オフィサー	中藤 万里子
チーフ・コンプライアンス・オフィサー	吉住 和彦（2026年3月株主総会後に退任予定）

新任メンバー略歴

パトリック・フォルシュ氏は免疫学、腫瘍学、神経科学など幅広い分野で実績を持っており、製薬およびバイオテクノロジー分野における優れた創薬リーダーとして CSO に就任しました。直近では Peptone の CSO として、AI を活用した創薬プラットフォームと、天然変性タンパク質を標的とした初期パイプラインの構築に携わっていました。それ以前には、Sitryx において、Eli Lilly and Company との提携により、IND（治験薬申請）からヒト初回投与試験まで、種々のプログラムを主導した実績があります。バイオテクノロジー分野でのキャリア以前は、欧州製薬企業 UCB で 15 年間にわたり、研究開発部門で責任ある役職を数多く歴任しております。また、ロンドンの Francis Crick Institute の Entrepreneur in Residence（客員起業家）でもあり、EMBL Heidelberg で博士号を取得し、同研究所でポストドクター研修を修了しています。

ネクセラファーマについて

ネクセラファーマ株式会社は、テクノロジーに立脚したバイオ医薬品企業であり、日本および世界中のアンメットニーズにお応えし、患者さまの生活の質を向上させる新しいスペシャリティ医薬品をお届けすることを目指しています。

当社は、価値が高く大規模、かつ成長著しい日本および APAC の広範な市場で、複数の上市済み製品をはじめ、画期的な医薬品の開発・販売を行うアジャイルで次世代の商業化ビジネスを展開しています。

当社独自の「NxWave™」創薬プラットフォームを活用して、探索から後期臨床段階にある 30 品目を超えるプログラムからなる幅広いパイプラインの開発を、自社で、あるいは大手製薬企業やバイオ医薬品企業との提携により推進しています。このパイプラインには、ファーストインクラスまたはベストインクラスの候補化合物が含まれ、肥満症・代謝障害、神経疾患・神経精神疾患、免疫疾患・炎症性疾患などの大きく成長する治療分野における主要なアンメットニーズにお応えすることに重点を置いています。

当社は、東京、大阪、ロンドン、ケンブリッジ、バーゼル、ソウルに主要拠点を展開しており、約 400 名のグローバル従業員が活躍しています。

詳しくは、ホームページ www.nxera.life/jp をご覧ください。

LinkedIn: [@NxeraPharma](#)

X: [@NxeraPharma](#)

YouTube: [@NxeraPharma](#)